

宮本たけし前衆院議員（近畿比例・大阪5区予定候補）は衆院議員として初めて務めた文部科学委員としての経験を生かし、「ポストコロナに子どもと学生に希望と届ける宮本プラン」を発表、教育に携わる人や学生らと懇談を重ねています。

20人程度の少人数学級、学費半額をぜひ

「タイムリーで大事なことをズバリ」

■滋賀県立大教授・福井雅英さんと語る

福井氏は『宮本プラン』は実に良いタイミングで出された。20人程度の学級と40人の学級では、黒板の前に立った時、子どもの見え方がまるで違う」とし、「とても大事なことをズバッと言ってもらっている」と話しました。



■成蹊大(大阪市東淀川区) オンライン授業によるWiFi整備などで全学生に3万円支給。パソコン貸出用に1000台用意。ピアノレッスンの代わりに貸出用キーボード100台。学生寄り添う努力がされていることを聞きました。



大阪経済大(同) 学生支援緊急給付金や学生の状況を聞き取り。大学独自の援助金を支給しており、今年度は例年より除籍率が低いとのこと(写真左)。

■学生団体と「京都教育無償化プロジェクト FREE」と懇談。京都の学生の4人1人が退学を考えているとのアンケート結果が出ており、『宮本プラン』の授業料半額はその通りだと思う」「半分の学生が、バイトが減っている70%が収入ゼロ、これ以上親に負担をかけられない」などの声が出されました。

■学校長と

大阪5区地域の小学校長 共感を持って歓迎された。分散登校で不登校の生徒が減ったのは事実という一方、「各学年1クラスで『競争心・向上心』が育つか心配」の声。

兵庫の市立中学校長 「多人数学級で、教師の目が行き届かないことが『いじめ』の一因ではないかと思っている。教員を増員して、少人数学級を実現していくことは必要」「修学旅行は中止にした。子ども達は諦めていたようで静かに聞いていた。本当に申し訳なく涙が出てきた」。

■教職員組合

大教組など

- ・分散登校で不登校の子ども達が登校できるようになったが、また来られなくなっている。
- ・教員の増員は是非実現したいが、予算的な問題以外に労働条件の問題がある。過酷な労働環境、免許の10年更新制等で新人が辞めていっている。コロナで教師が消毒作業をしなければならず、負担がさらに増している。

全教兵庫

- ・少人数学級で、教室が静かで驚いている。目が届くことが原因か。いつもは静かにさせるのに苦労していた。
- ・40人学級では教科書をこなすこと強いられ、生徒から「なぜ？」が出ないようにしている。

全教滋賀

- ・学校全体の消毒作業を部活が終わった18:30から教師が行っている。疲弊している。
- ・分散登校で「少人数学級」を経験して、現場では自然と「少人数学級」のことが話題になっている。

20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115
【府県・地区・地方議員御中・部内資料】